

地域のブランド野菜の見学（高泊小学校）

高泊小学校3年生が、地域ボランティアの皆さんに見守られながら、校区内にある有限会社グリーンハウスを見学しました。ここで生産されているネギは、県内だけでなく東京や大阪などでも販売されており、本市の特産物の一つです。児童は、土づくりから播種や灌水、収穫、出荷までの過程を見たり説明を聞いたりし、野菜を育てる喜びや苦勞などを学びました。このような体験を通して、自分たちの住んでいる地域への誇りや愛着心が高まっていくことでしょう。お土産にいただいたネギをしっかりとって帰校しました。



小中地域合同避難・防災訓練（厚陽小中学校）

はじめに、児童生徒が地震を想定した避難訓練を学校で実施した後、津波の可能性のあることから、旧厚陽中学校まで避難しました。緊急放送を聞いて机の下に入ったり、黙って速やかに避難所に移動したりしました。旧中学校では、防災ヘリコプターが想定傷病者を吊り上げ、旋回してから着陸し、救急車で搬送するまでを地域の皆さんと見学しました。テレビと違って、目の前で実際に救助活動を見ると緊迫感があって、全員がじっと見入っていました。自然災害を含めて、いざという時の対応の仕方を学ぶ機会になりました。



高等学校出前授業（厚狭中学校）

厚狭中学校3年生が、県立小野田工業高校化学工業科の授業の模擬体験をしました。工業高校で行われている工業化学という授業では、生徒は酸とアルカリの定義や炭化水素の分子式・構造式などを、ドライアイスに水を溶かす実験やタブレットのアプリを通して学びました。聞き慣れない言葉や見たことのない実験などにも関心を示し、高校の先生の話真剣に聞いたり大事なことをメモしたりしていました。生徒は、工業高校の授業の雰囲気を感じることができ、進路選択の参考になったのではないかと思います。

